

令和5年度国内における米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン23)後段(実動訓練)の概要

名 称		本演習の通称:レゾリュート・ドラゴン23(RD※23)	※ Resolute Dragon:不屈の龍
目 的		陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同作戦能力の向上を図る。	
日 時		令和5年10月14日(土)～同月31日(火)	
場 所		健軍駐屯地、高遊原分屯地、日出生台演習場、十文字原演習場、霧島演習場、瀬戸内分屯地、矢臼別演習場、沖縄県内の一部の自衛隊施設及び在日米軍施設 等	
参 加 部 隊	自衛隊	西部方面総監部、第8師団、第15旅団、西部方面情報隊、西部方面特科隊、第2高射特科団、第5施設団、西部方面航空隊、西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、九州補給処、陸上総隊(第1ヘリコプター団) 等※	
	米海兵隊等	第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵師団司令部、第4海兵連隊、第12海兵連隊、第3機動展開部隊情報群、第1海兵航空団、第3海兵兵站群、米陸軍・米海軍・米空軍の一部 等	
特 色		○ 島嶼防衛作戦における陸自の領域横断作戦(CDO)と米海兵隊の機動展開前進基地作戦(EABO)を踏まえた連携要領の具体化を図るために実施する米海兵隊との共同訓練 ○ 今年度7月に実施した前段(指揮所演習)の成果を踏まえ、南西地域を担当する西部方面総監部と第3海兵機動展開部隊司令部以下により実施する国内における米海兵隊との最大規模の実動訓練	
訓練の概要	指揮機関訓練	西部方面総監部及び米海兵機動展開部隊司令部以下の指揮機関が各種の共同調整所を開設し、日米による情報収集・共有、火力調整(ターゲティング)、兵站・衛生支援等の調整、それぞれの指揮系統に従った戦闘指導等を実施	
	実動訓練	○ 日米の指揮機関による戦闘指導と連携し、陸自の地对艦誘導弾(SSM)、多連装ロケットシステム(MLRS)、米海兵隊の高機動ロケット砲システム(HIMARS)等を活用した対艦・対空戦闘や対着上陸戦闘、共同兵站・衛生支援等の島嶼防衛に必要な実動訓練を実施 ○ 陸自の多連装ロケットシステム、米軍の高機動ロケット砲システム(HIMARS)等による実弾射撃を実施 ○ 日米オスプレイによる患者後送等、日米共同の滑走路復旧等を実施	
訓練のイメージ		   	
		【日米共同の作戦会議】	【SSM・HIMARS等による対艦戦闘】
		【共同による対着上陸戦闘】	【日米オスプレイによる患者後送】